

講義名	応用経済学特論			授業形態	
担当教員	上瀬 真生	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生
				ナンバリング・コード	
主題と概要					
現在、世界中で経済的な格差の広がりが問題となっている。経済的な格差がどのように広がっているか、それは何が問題か、どうしたら格差を縮小できるか、などについて、スティグリッツ著『PROGRESSIVE CAPITALISM(プログレッシブ キャピタリズム)』を受講生とともに読み、アメリカの状況に即しつつ、より普遍化して考える。					
到達目標					
21世紀における経済的不平等の拡大について、それが何によってもたらされたかを理解できるようになる。 経済的不平等拡大の問題を解決するためにどのような方策が提起されているのか、理解できるようになる。 以上をふまえて、経済的不平等の問題について自分なりの考えをもつことができるようになる。					
提出課題					
期末にレポート試験を課す。 キャンバスクロスをつうじて提出してもらう。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
毎回の演習で質問への回答、補足説明などを行う。					
評価の基準					
毎回の演習への参加度（質問や発言など） 60点満点 期末レポート試験 40点満点 合計100点満点					
履修にあたっての注意・助言他					
日本語のテキストを演習形式で受講生と一緒に読み進めていく。 そのため、当然、毎回の出席とテキストの予習が必須である。					
教科書					
.PROGRESSIVE CAPITALISM(プログレッシブ キャピタリズム).		ジョセフ・E. スティグリッツ著、 山田 美明 訳	東洋経済新報社	2640	978449231523
参考文献					
.なし. .					

その他			
必要があれば、適宜演習内で提示する。			
授業計画			
01. 「まえがき」を読む 02. 「第1章 分断された世界」を読む 03. 「第2章 悪化が進む経済」を読む 04. 「第3章 搾取と市場支配力」を読む（1） 05. 「第3章 搾取と市場支配力」を読む（2） 06. 「第4章 グローバル化により自らの首を絞める国家」を読む 07. 「第5章 金融が引き起こした危機」を読む 08. 「第6章 新たなテクノロジーが提示する課題」を読む 09. 「第7章 なぜ政府の介入が必要なのか」を読む 10. 「第8章 民主主義を回復する」を読む 11. 「第9章 万人に仕事やチャンスを提供する力強い経済を回復する」を読む（1） 12. 「第9章 万人に仕事やチャンスを提供する力強い経済を回復する」を読む（2） 13. 「第10章 万人にまともな生活を」を読む 14. 「第11章 市民社会を再生する」を読む 15. まとめ			
授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）	○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	○ ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間			
テキストの予習・復習45時間、期末レポート試験の準備15時間			
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連			
目標（一）を達成することで、主に「卒業認定・学位授与の方針」の「(1)-1.理論的・実証的な課題を研究するために必要な科学的方法論を身につけていること」、および「(1)-2.研究者として、流通科学諸分野における豊かな学識と研究能力を身につけていること、または高度専門職業人として、より実践的・課題解決的な能力を身につけていること」に寄与する。			
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述			
毎回の演習でテキストに関する質問や発言を求める。			
実務経験の有無及び活用			
なし。			
備考			